

平成29年度第3回運営委員会 議事概要

- ・開催日時 平成30年3月6日(火) 13時30分～15時30分
- ・出席者 運営委員…………… 14名出席(欠席委員:1名)
 ウィズセンター…………… 所長、次長、職員

議事	概要
1 開会 2 議事 (1)平成29年度事業 の実施状況につ いて (2)ウィズセンター の利用状況につ いて [質疑等] 委員 ウィズセンター 委員 ウィズセンター 委員 ウィズセンター 委員 委員 委員 ウィズセンター	ウィズセンター説明 ・出前講座について、よい事業だと思うので活発にやっていただきたい。出前講座を行ったところは公的機関等が多いのか。 ・市町村の場合は一般の方向けに講座を行った。国の機関では職員研修として講座を行った。 ・内容やテーマはDVに関するものが多いのか。 ・今年度はDVをテーマとした講座は多かった。 ・男女共同参画を進める上で民間企業と連携して事業を行うことは重要であると考えている。人口の多いところをターゲットにして出前講座を行うことができればより効果的であると思う。民間企業に出前講座を行ったことはあるか。 ・民間企業での出前講座はあまり行えていない。民間企業に出前講座を行う上で、こういった形式、テーマや内容であれば出前講座を利用してもらえるか考えていかなければいけない。 ・民間企業にとっても男女共同参画は非常に大事なことなので、民間企業と連携した事業等を行っていただきたい。 ・男女共同参画推進センターPR事業について、情報誌を金融機関に配架開始したということだが、どの金融機関に配架しているのか。また、県の広報誌やテレビ、ラジオ、メールマガジン、フェイスブックの発信状況などを教えていただきたい。 ・情報誌について、配架した金融機関は中国銀行、トマト銀行、日本政策金融公庫、おかやま信用金庫、水島信用金庫、津山信用金庫、玉島信用金庫、備北信用金庫、吉備信用金庫、日生信用金庫、備前信用金庫の11

議事	概要
<p>委員</p> <p>ウィズセンター</p> <p>(3) 平成30年度事業 計画案について 〔質疑等〕</p> <p>委員</p> <p>ウィズセンター</p> <p>委員</p> <p>ウィズセンター</p> <p>委員</p> <p>ウィズセンター</p>	<p>カ所である。ラジオについて、RSKラジオの「県民のみなさんへ」等を活用し広報を行っている。キャリアアップ講座の倉敷についてはFM笠岡で電話インタビューの番組が放送された。メールマガジンについて平成30年1月末で2,982件送信している。登録者は300名弱いる。フェイスブックは平成30年2月末で31件配信している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画推進月間事業の記念講演について、手話通訳もありとてもよかったという感想を聞いている。他の講演会などの事業にも、ぜひ手話通訳をつけていただきたいが、手話通訳の予算を取っているか。 ・来年度の予算では、男女共同参画推進月間の記念講演について、手話通訳の予算を取っている。他の講演会などの事業については、申し込みの際に把握できるような様式にし、希望があった場合にその都度対応していく予定である。 ・働く女性トータルアシスト事業案について説明 ・資格チャレンジコースについて、岡山、倉敷、津山で今までキャリアアップ講座として行っていたが、集客率が少なく、類似する津山市の独自の講座もあるため、来年度は資格チャレンジコースとして岡山、倉敷のみで行うとのことだが、岡山市や倉敷市の男女共同参画のセンターでは類似の事業は行っていないのか。 ・岡山市、倉敷市では、今までキャリアアップ講座と類似の事業は行っていない。倉敷市のセンターでは会場を借りて、共催でキャリアアップ講座を開催している。岡山市では再就職スタートアップ事業と類似した事業を行っているようだが、ウィズセンターは岡山県民を対象としており、岡山市以外の地域の方にも参加してもらえと思う。 ・実際に受講して就職された方は何人ぐらいいるか。また、どのような感想が寄せられているか、教えてほしい。 ・調査では、受講した半分ぐらいの方が就職をしているようである。「講座で習得した技術や知識は仕事に十分生かされている」「エクセルでの作業を頼まれるときに苦手意識を持たずにできた」などの感想があった。 ・こういった事業は行政や女性活躍に関連するいろいろな団体で行われているが、ウィズセンターで行う意義について教えてほしい。 ・ウィズセンターで講座を行う意義は、自分の人生の中で「働く」ということを考えたり、その能力を十分に発揮できるようにするために、再就職のためのより高い資格や知識を身につける応援をすることだと考えている。「再就職スタートアップコース」は、将来働きたい人や就職のブランクに対する不安解消や勇気づけを行うことを目指す、働くことを考え始めた人向けのコースである。「資格チャレンジコース」では、寡

議事	概要
委員 (3) 平成30年度事業 計画案について [質疑等]	<p>婦等の方には受講旅費を支給しているので、様々な方が利用しやすくなっているかと思う。「女性活躍キャリアアップコース」は、管理職等を目指す女性のキャリア形成を支援する企業研修の支援ということで、出前講座との連携も考えられる。企業で女性を管理職候補として育てていこうという意識の醸成ということも念頭に置いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性相談所等にも、こういった事業があることを周知し協力していくことで、より様々な方が安心して就業に向けて利用できるようになると思う。 ・ウィズセンター20周年記念事業案について説明 ※平成31年度に開催予定
委員 ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップについて、具体的にどのように行っていくのか。 ・県民の皆さんのいろんな意見を吸い上げたいというのが狙いである。ワークショップの開催例として、県民主導のワークショップでは、男女共同参画に関するテーマについて講師の方から、ある程度基礎的な話を伺った後、5人から6人の小さなグループでグループワークを行う。その後、グループワークで話し合われた内容について、ファシリテーターの方に意見を集約してもらい、それをウィズセンターに報告していただく流れである。県民主導のワークショップは複数の団体に行ってもらい、ウィズセンターは報告のあった集約された意見をテーマとして、最後にウィズセンターによるワークショップを行う。
委員 ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山県の男女共同参画の過去と現在と未来を考えていく内容だと思うが、単に分野ごとのテーマのワークショップをするのは少し違和感を感じる。 ・県民主導のワークショップのテーマについては、現在は例として挙げているが、まだテーマについて具体的に決めているわけではない。それぞれの分野において、今までのことについて振り返り、現状や課題を踏まえながら、今後の在り方や方向性を考えていき、ウィズセンターはそういったことに対してどういう連携ができたり、役割が担えるのかというのを一緒に考えていきたいと思っている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・第1段階のテーマとしては、できるだけ具体的テーマでないと話づらいのではないかと感じる。例えばDVの根絶にしても、根絶するには、自治体がどういうふうに対応すれば根絶する方向に向かっていけるのかなど、そういった小さいテーマのほうがよいと思う。焦点を絞ると議論するほうもしやすいと感じる。
委員 ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・県民主導によるワークショップについて、これは募集があつて応募をして、承認されれば開催要件の範囲で団体が事業を開催するというのでよいか。 ・お見込みのとおりである。開催要件の範囲内で委託するイメージである。

議事	概要
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・県民主導のワークショップについて、ウィズセンター登録団体等に広く募集するのか。それとも、ウィズセンターが開催する団体がある程度絞るのか。
ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィズセンター登録団体等に広く募集するようになりたいと考えている。開催してもらいたい団体の数は、意見を伺い考えていきたいと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィズセンター登録団体等の方にとって、この県民主導のワークショップは、ぜひ開催してみたいものなのかを教えてください。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・一番心配なのは予算であるが、テーマ例に挙げられている「DVの根絶」で考えたとき、この事業にどのように応募していこうかという夢は持っている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の推移から今の問題点、今後どうしたらいいかとかというまとめを発表すればよいのであれば開催できるのではないかと感じている。ウィズセンターの行うワークショップで、どの程度の発表になるかが心配であるが、テーマが合えば応募してみたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・会員の年代層が非常に高いので、現在挙げられているテーマ例だと開催は難しいかもしれないが、テーマが決まったら応募できるか考えていきたい。
ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマや事業の内容についても意見を伺っていきたいと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップを行い、よくあるのが、開催しただけで終わってしまうということである。開催した時点では活発に意見を言い合うが、まとめ後にそこで終わってしまうことが多い。最初からどういう着地点にするのか、落としどころはどうするのかということを見定めてやらないと、本当にやっただけになってしまうのではないかという危惧がある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・こういったワークショップを企画をする、運営することによって、それぞれの団体や個人が力を付けるというふうに捉えてもよいかと感じる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の立場からいうと、年間計画というのは年明けぐらいから考えるので、平成30年12月末までに内容を決めて、通知してもらえると助かる。
(4)「岡山県男女共同参画推進センター（ウィズセンター）の今後のあり方についての意見書」についての取り組み状況 〔質疑等〕	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィズセンター説明
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・20周年に向けて、今後のウィズセンターの在り方や事業について、またあらためて、各委員の意見を聞く機会を設けるということによいか。

議事	概要
ウィズセンター 3 閉会	・この取り組み状況を参考にして、各委員、各々のお立場で男女共同参画に対する変遷や、現在の課題、ウィズセンターに担ってほしい役割などについて、来年度の第1回目の運営委員会で意見を伺いたいと考えている。 以 上